

令和4年度行政提案型協働事業

未来につなげる 地域の活動拠点づくり事業 【深化版】

令和4年5月6日
みらいくる

1 団体紹介

● 団体名：みらいくる

代表者名	徳納 弘和
発足年月日	令和2年4月27日
構成員数(会員数)	12名(個人会員) ※令和4年4月末現在
役員数	3名(会長・副会長・監事)
主な活動地域	会津若松市内
主な活動内容 ・業務内容	公共団体(国、県、市町村等)及び民間団体(自治会、企業、NPO法人、その他の団体など)が行う、まちづくりや地域活性化、社会教育事業等の企画・運営・調査研究等の活動の支援を通じて、住民参画によるより豊かで持続可能な社会づくりにつなげることを目的とする。



2 提案事業の概要

- 市の公共施設マネジメントの取組の一環として、地域の方々と共に、地域の現状や課題、様々な活動の状況などを整理しながら、学校や公民館、コミュニティセンターといった、地域の公共施設等について、地域の課題解決や活性化につながる利活用のアイデアを地域の方々と共に検討し実現につなげていく。
- 令和3年度は、行仁・門田の2地区において、住民ワークショップやアンケート調査などを行い、地域の課題や資源、活動状況、今後の地区に必要な活動などについて整理しました。

3 令和3年度の取組内容（行仁地区）

行仁地区の取組：地域の活動拠点ネットワーク事業

■ 主な取組

- ① 未来デザイン会議
- ② 行仁地区住民アンケート
- ③ 行仁地区各種団体アンケート

■ 検討内容・成果等

① 行仁地区未来デザイン会議

- 第1回：令和3年11月19日（金） 会議の目的・趣旨について意見交換
 - 第2回：令和3年12月17日（金） WS形式で意見交換し地域の課題・資源を整理
 - 第3回：令和4年1月21日（金） WS形式で地図上に活動状況を「見える化」
- 会 場：行仁小学校 / 参加者：行仁地区各種団体の皆様（各回20名程度）

② 行仁地区住民アンケート

- ・ 調査期間：令和4年1月～2月
- ・ 調査内容：地域の取組の重要度や満足度、良い所など
- ・ 回答者数：49名/7,465名（回収率0.7%）

③ 行仁地区各種団体アンケート

- ・ 調査期間：令和4年1月～2月
- ・ 調査内容：各団体の概要、活動状況、課題など
- ・ 回答数：14団体/18団体(回収率77.8%)



3 令和3年度の取組内容（行仁地区）

① 行仁地区の取組

● ワークショップの主な意見

【地域の課題】

- * 少子高齢化
- * 担い手不足
- * 歳の神の場所
- * 同じような団体が多い
- * 集会所が少ない

【地域の資源】

- * 子どもが素直
- * 高齢者のサロン活動が活発
- * 住民同士のつながり
- * 団体がまとまっている
- * 地域のお祭りや運動会などのイベント
- * 生き物（ザリガニ、ホタル、カモなど）

3 令和3年度の取組内容（行仁地区）

① 行仁地区の取組

● ワークショップの主な意見

【地域の活動状況】

○行仁コミュニティセンター（17活動）

- ・ 区長会の会議や地域サロン、サークル活動、そば会など

○行仁小学校（10活動）

- ・ あいさつ運動や見回り、地区運動会、歳の神、バザーなど

○桧町内会の活動（12活動）

- ・ 地域サロン、グラウンドゴルフ、お祭り、芋煮会など

3 令和3年度の取組内容（行仁地区）

① 行仁地区の取組

- ワークショップの成果をもとにデジタル地図を作成しました。
⇒今年度、詳細な活動状況の分析を進めます。



地域活動のリスト		活動名	主催団体	分類			回数・頻度 (回/年)
				種類	分野	対象者	
1		区長会 総会	区長会	会議	自治・コミュニティ	特定	1
2		区長会 役員会	区長会	会議	自治・コミュニティ	特定	4
3		各町内会総会	町内会	会議	自治・コミュニティ	特定	1
4		上野伏町町内会 総会・役員会	上野伏町町内会	会議	自治・コミュニティ	特定	7
5		行仁地区民生委員協議会定例会	行仁地区民生委員協議会	会議	自治・コミュニティ	特定	12
6		行仁ネットワーク会議・協議会	第一包括支援センター	会議	高齢者	特定	4
7		行仁地区ケア会議	第一包括支援センター、他	会議	高齢者	特定	4
8		行仁地区ミニケア会議	第一包括支援センター、他	会議	高齢者	特定	不定期
9	行仁コミュニティセンター	コミセン清掃	子どもクラブ	地域活動	健全育成	子ども	1
10		うたごえ広場(合唱サークル)	(不明)	地域活動	文化・伝統	特定	24
11		そば打ち教室	(不明)	地域活動	文化・伝統	特定	20
12		太極拳	(不明)	地域活動	文化・伝統	特定	20
13		赤べこ体操	(不明)	地域活動	高齢者	高齢者	20
14		いきいき100歳体操	(不明)	地域活動	高齢者	高齢者	20
15		行仁ってみっ金(地域サロン会)	民生児童委員協議会	イベント	高齢者	高齢者	12
16		新年会	区長会、コミセン	イベント	自治・コミュニティ	特定	1
17		そば会	(不明)	イベント	スポーツ・イベント	地域住民	不定期
18		朝のあいさつ運動	青少年育成推進協議会	地域活動	健全育成	子ども	24
19		見回り	父母と教師の会(PTA)、校外補導	地域活動	防災・防犯	子ども	不定期
20		見守り	青少年育成推進協議会	地域活動	防災・防犯	子ども	不定期
21		ラジオ体操	保健委員会、体育会、コミセン	地域活動	健全育成	子ども	1
22	行仁小学校	子どもまつり	子どもクラブ	イベント	スポーツ・イベント	子ども	1
23		味噌づくり	子どもクラブ	イベント	スポーツ・イベント	子ども	7

データを地図に読み込み

3 令和3年度の取組内容（門田地区）

門田地区の取組：門田Re:デザイン事業

■ 主な取組

- ① 門田防災デイキャンプ
- ② 子育て世代ワークショップ
- ③ 門田地区住民アンケート
- ④ 門田地区各種団体アンケート

■ 検討内容・成果等

① 門田防災デイキャンプ

- ・ 日時：令和3年10月9日（土）9：30～11：00
- ・ 会場：南公民館 / 参加者：35名（区長会等25名、消防団3名、住民7名）
- ・ 内容：居住地域の災害の把握、「ふくしまマイ避難ノート」によるマイ避難シート作成、災害情報の取得方法、土のう・水のうの作り方と利用方法 など

② 子育て世代ワークショップ

- ・ 第1回：令和3年11月20日（土）18：00～19：30
- ・ 第2回：令和3年12月11日（土）18：30～19：30
- ・ 会場：南公民館
- ・ 内容：第1回…子育てしていて良かったこと、大変だったとことを振り返る
第2回…これからの門田地区の子育てに必要な取組などを考える



3 令和3年度の取組内容（門田地区）

門田地区の取組：地域の活動拠点ネットワーク事業

■ 主な取組

- ① 門田防災デイキャンプ
- ② 子育て世代ワークショップ
- ③ 門田地区住民アンケート
- ④ 門田地区各種団体アンケート

■ 検討内容・成果等

- ③ 門田地区住民アンケート
 - ・ 調査期間：令和3年10月～11月
 - ・ 調査内容：地域の取組の重要度や満足度、良い所など
 - ・ 回答者数：116名/25,104名（回収率0.5%）

- ④ 門田地区各種団体アンケート
 - ・ 調査期間：令和3年10月～11月
 - ・ 調査内容：各団体の概要、活動状況、課題など
 - ・ 回答数：9団体/12団体（回収率75.0%）



3 令和3年度の取組内容（門田地区）

② 門田地区の取組

● 子育て世代ワークショップの結果

○第1回（門田地区での子育てをステージごとに振り返る）では、

- ・子育てに関する情報の共有があれば嬉しい
- ・子ども会活動の減少

などの意見が出されました。

また、子どもの年齢や家庭環境等に応じて、親が感じる課題や必要となる支援のニーズが異なることがわかりました。

○第2回（これからの子育て環境について考える）では、

- ・子ども会活動の充実
- ・学校の規則が変えられないか（学区内でしか遊べない など）
- ・学習支援や居場所づくり
- ・イベントの充実や新しい催し などのアイディアが出されました。

4 令和3年度の課題と継続理由

- この取組により、地域の現状や課題、活動状況、住民の方々の考えなどを「見える化」し、共通認識を醸成することができました。
- 一方、地域の方々の取組への理解を醸成することや、地域の課題等についての共通認識づくりに重点を置いたこと、新型コロナウイルス感染症の影響により思うようにワークショップ等が実施できなかったことなどから、メインテーマである、公共施設等の活用アイデアや地域の組織体制の見直しといった課題まで議論を進めるにはさらに時間が必要です。
- そのため、令和4年度も当該事業を継続し、地域の皆様との検討を進めていきたいと考えています。

5 令和4年度の取組内容

- 1 令和3年度実施地区（行仁・門田地区）における検討
令和3年度に検討を開始した行仁・門田地区において、
検討を継続し、地域課題の解決につなげていきます。

【想定される検討事項】 ※詳細は地域の方々と検討し決定します

●行仁地区

- ・ 公共施設と地域の施設のネットワークづくりや活用のアイデア
- ・ 各種団体の連携や組織体制の見直し案

●門田地区

- ・ 門田地区各種団体連絡協議会を中心とした今後の地域の組織体制の検討
- ・ よりよい地域づくりの実現に向けた地域独自の計画づくり

5 令和4年度の取組内容

2 新たな地区への展開

行仁・門田地区の取組をモデルとして、新たな地域へと取組を展開していきます。

※対象地区は市において公募を行い決定します

※1～2地区を想定しています



6 役割分担

- 取組にあたり、当団体と市とで以下の体制により進めていきます。

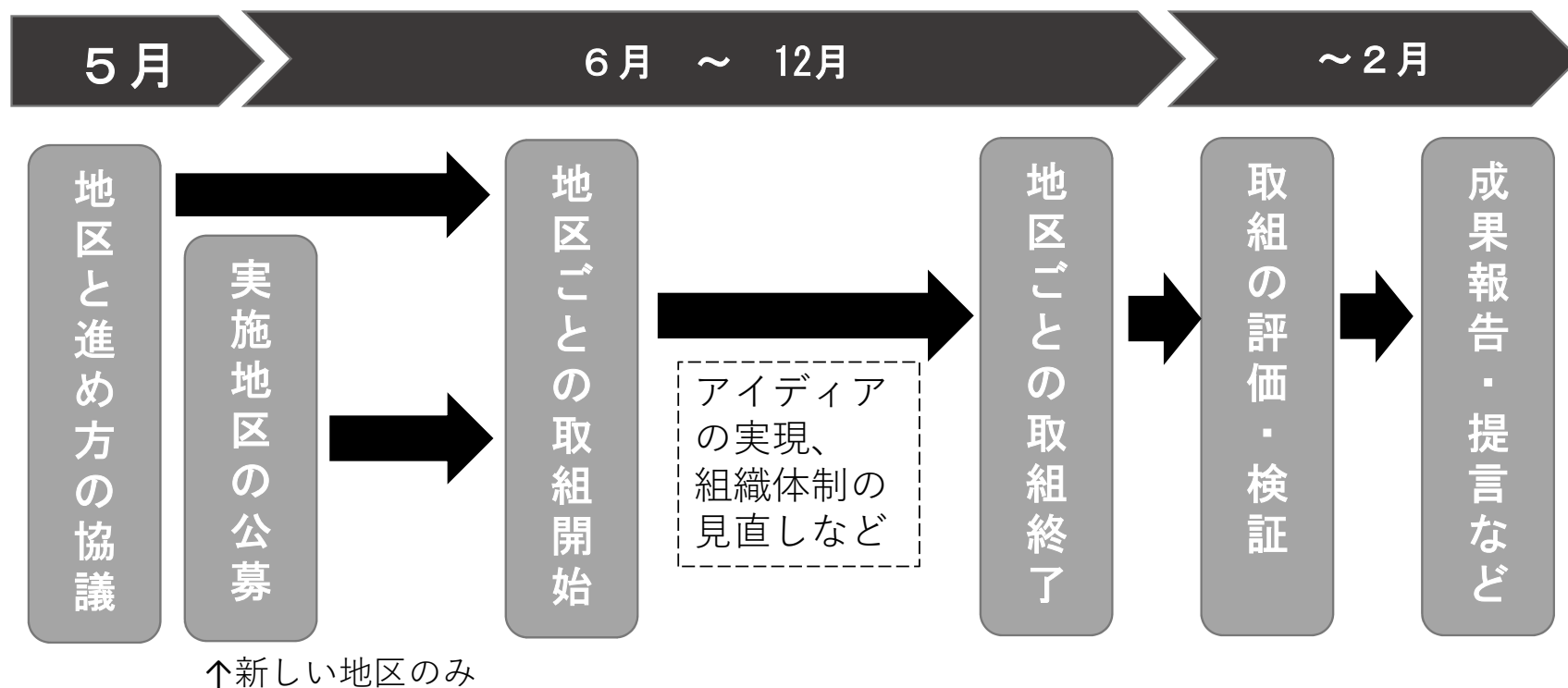
市の役割	<ul style="list-style-type: none">● 実施団体の募集● 地区の各種団体や学校、関係課・機関等との連絡調整● 事業全体のスケジュール管理や会場確保、GIS地図作成 など
当団体の役割	<ul style="list-style-type: none">● 意見交換会（ワークショップ）やアンケート調査の企画運営● アンケート調査票（Web回答のフォーマット）やチラシの作成● ワークショップやアンケート調査結果の整理・分析、今後の検討の進め方の提案 など

※令和3年度と同様

7 事業のスケジュール

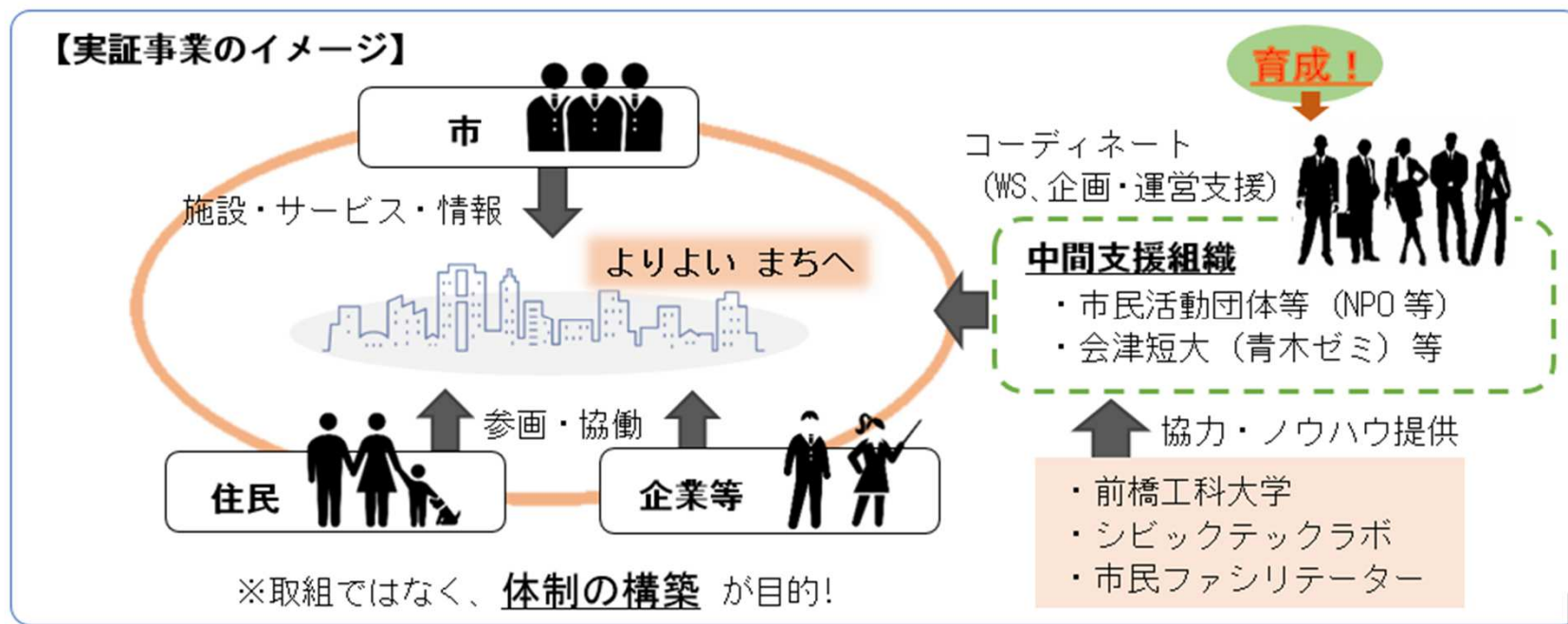
●当団体が提案する事業の流れ

【スケジュール】



8 最終目標

- この取り組みを通じ、市と市民をつなげ、協働を推進する「仕組みづくり」につなげていきたいと考えています
※本事業の成果をまとめ、市へ提言していきたい



参考：当団体のサポート体制

- 本事業の推進にあたっては、必要に応じ、当団体のアドバイザーにも協力いただく予定です。

【アドバイザー】

- コミュニティデザイン、ファシリテーション

- ・ 一般社団法人 シビックテック・ラボ 市川 博之氏
市川 希美氏



- 公共施設マネジメント

- ・ NPO法人 リデザインマネジメント研究所 理事 堤 洋樹氏
(前橋工科大学 准教授)



※ 3名とも「未来デザインワークショップ」等、市の様々な取組にも協力しています。